

研究課題：若年性特発性関節炎と限局性強皮症合併の検討

1. 研究の目的：小児期における若年性特発性関節炎は比較的稀な疾患です。若年性特発性関節炎(JIA)は最も頻度の高い小児リウマチ性疾患の一つです。一方、限局性強皮症は皮膚硬化を主症状とするリウマチ性疾患です。限局性強皮症も関節炎を合併することがありますが、この報告は主に海外からのものであります。本邦では若年性特発性関節炎と限局性強皮症の合併例はほとんどありません。若年性特発性関節炎の皮膚症状として限局性硬化症は重要と考えられます。本研究は若年性特発性関節炎と限局性強皮症の病態と臨床経過の解析を目的とします。
2. 研究の方法：診療録を用いた後方視的観察研究です。観察項目は、身体所見、血液検査、画像検査を用います。
3. 研究期間：倫理委員会で承認された後、～2020年12月31日
4. 研究に用いる資料・情報の種類：診療録、血液検査、画像・病理検査です。
5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表：学会報告、学術論文
6. 研究組織：埼玉県立小児医療センター感染免疫科 医長 佐藤 智
7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先
研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2020年12月1日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）